

開催日：平成 28 年 4 月 28 日 (木)

開催場所：みやもりホール

出席者：男性 12名 女性 1名 計 13名

No.	市民からの意見、提言等	会場での回答の内容	その後の経過と取組
1	市長が市内の街灯を徐々にLED化するといっていたが、早くやってほしい。	防犯灯のLED化については、昨年度1年間かけて市内全域調査をしており、今年度予算で全てLED化する予定だ。	市が防犯灯として管理する照明器具は、LEDへの切り替え事業が完了した。
2	ある市民がゴミ焼きをして県条例違反に問われ罰金を支払った。県条例を改正してほしい。	県条例の話でもありここで判断できないが、上位法である国の法律に準じたものと思われる。	
3	花巻との境にゴミの山がある。増田知事の頃からだが、そのうちに所有者が変わり放置された状態だ。	話を持ち帰って現地調査しながら担当課と調整したい。	現地調査を行い、対応を検討する。
4	市道長崎線は、合併前は舗装してもらう話だったが、現在に至るまで舗装されておらず降雨時は道路に沿って水が流れ民家に入るので改善してほしい。	話を持ち帰って現地調査しながら担当課と調整したい。	市担当課へ伝達した。
5	まちづくり検証委員会から提言をもらって、遠野市は何か変わったことがあるのか。	地域コミュニティや地区センターの在り方の提言を頂き、達曾部と鱒沢地区に地区センターが新たに設置する。	
6	議会での当局答弁において、市担当者の「資料を持ち合わせていない」という答弁や、その発言を議員が問題視しないのはおかしい。	震災以降、議会が宮守総合支所で行われており、職員も約30分かけて通っているが、限られた手持ちの資料で進めているのが現状だ。不足の部分は後日改めて答えてもらう方法で進めている。	
7	汚染されたほだ木はどのように処理しているのか。	チップ化しフレコンバッグに入れ砥森市有林内に保管している。	

No.	市民からの意見、提言等	会場での回答の内容	その後の経過と取組
8	達曽部診療所が閉所した後、タクシーで東和の病院に通院して経済的負担が大変な人もいる等、利用者が大変困っている。バスも大きな道路しか通っておらず、そこまで出るのすら大変な状況だ。一人、二人暮らし高齢者で満足に外に出られない方の要望をどこで誰が聞いてくれるのか。是非手を差し伸べて頂きたい。	市からは利用者の意見も聞き総合的に判断したとの説明を受けているが、閉所して約1か月が経過しその後の状況を担当課に確認する必要があると感じた。早めに対応を協議したい。	現状を調査し、今後の対応について検討する。
9	透析患者の通院に際して、交通の便の良い所はバス代の補助等があるが、山の中に住んでいる人は不便だから自家用車で送ると補助はない。交通弱者にこそ補助が必要では。	当局と常任委員会で整理し合って対応したい。	県立遠野病委員の透析病床が増床された。市外への透析通陳謝への助成拡大についても検討を求めている。
10	鱒沢インター周辺で工事が残っている箇所がある。市では必ずやるといっているが、住民が納得できる工事をしてほしい。	自動車道工事に係る地域説明会で国交省と約束事があった中で、まだ整備されていない分の件だと思うが、市を通して国交省に説明してもらおう機会を作るよう伝える。	担当課へ伝達した。国道事務所にも伝えてもらう。
11	四国の方では、木質バイオマスの燃料として個人が廃材を売って晩酌代になるようだ。遠野もそうなれば良いと思うが。	木質バイオマスは本市がモデル地域として現在林野庁の補助で実証試験をしている段階だ。ご指摘のような声があることを市に伝える。	市担当課へ伝達した。平成29年度からは実態を検証し、成果を生み出すことが求められるので、その経過を注視していく。